



処分組合ニュース

- 【1面】 処分場およびその周辺地域の環境対策に力を入れています
- 【2・3面】 環境対策を徹底し、循環型社会づくりをリードしています
- 【4面】 エコセメント通信、日の出だより、三多摩は一つなり交流事業 など

処分組合体

- 八王子市 立川市 武蔵野市 三鷹市 青梅市 府中市
- 昭島市 調布市 町田市 小金井市 小平市 日野市
- 東村山市 国分寺市 国立市 福生市 狹山市 東大和市
- 清瀬市 東久留米市 武蔵村山市 多摩市 稲城市 羽村市
- 西東京市 瑞穂町

処分組合は組合体からの負担金で運営されています

発行：東京都三多摩地域廃棄物広域処分組合

【事務局】〒183-0052 東京都府中市新町2-77-1 東京自治会館内 TEL:042-385-5947 FAX:042-384-8449
ホームページ http://www.tokyo-shobunkumiai.com メールアドレス skumiai@tokyo-shobunkumiai.com

「処分組合」とは…?

二ツ塚処分場・谷戸沢処分場(日の出町)を管理・運営している特別地方公共団体で、多摩地域の5市(府)の約390万人が対象のごみ処理や不燃ごみ、日の出町の新たなごみの焼却を確保する役割を担っています。また、多摩地区の環境改善に取り組んでいます。

二ツ塚処分場と谷戸沢処分場

処分場およびその周辺地域の環境対策に力を入れています

平成16年9月に一部の新聞において、国内219の処分場が国の安全基準に適合しないまま使用されているとの報道がありましたが、多摩地区のごみを埋め立てている二ツ塚処分場、および埋立を完了した谷戸沢処分場は、国の基準を十分にクリアし、国内最高水準の管理体制のもと安全に運営されています。



二ツ塚処分場のごみ焼却灰埋立の様子(平成16年9月撮影)。

安全第一を基本に運営しています

灰の飛び散りを防止

多摩地区の各清掃工場から発生した焼却灰や破砕不燃ごみは、二ツ塚処分場に運び込まれます。搬入時間は、午前9時から午後4時までと厳しく管理しており、風の強い日等は、灰の飛び散り防止に万全を期すため搬入は行いません。また、搬入された焼却灰は水をかけた後、その日のうちに土をかぶせて埋め立てています。

浸出水は生物処理後、下水道へ

雨水等がごみに接触して出てくる汚水を浸出水といいます。二ツ塚・谷戸沢の両処分場では浸出水を処理施設に集め、生物処理をした後に公共下水道に放流しています。また、浸出水が外に漏れ出さないよう埋立地全面に遮水シートを敷き詰め、その周囲に水を通さない保護土や保護材を設けています。

日の出町は環境先進都市

処分組合は、循環型社会づくりの新しい取り組みとして、二ツ塚処分場内に「エコセメント化施設」の建設を進めています。「エコセメント」とは、焼却灰をセメントとしてリサイクルするという、JIS規格にも制定された画期的な技術です。ダイオキシン対策など最新鋭の装置を完備し、安全性において最高水準を誇る究極のリサイクルを実現するこの施設は、

平成18年に稼働の予定です。新しく画期的な技術を投入したエコセメント施設が立地する日の出町は、まさに世界に誇ることができる環境先進都市です。

土砂崩れや洪水を防ぐ

処分場をあらゆる災害から守るため、災害対策にも力を入れています。防災施設には、流出土砂による災害から処分場を守る砂防ダムや、雨水や土砂流出などによる下流河川への影響を防ぐ防災調整池などがあります。

徹底した環境調査を実施

環境への影響を調べるため大気、水質、土壌や動植物の生息状況などの調査を定期的に行っています。調査は日の出町の住民の方々立ち会いのもと行い、結果をインターネットのホームページ等で常時公開しています。

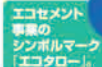
処分場は安全に管理されています

東京都三多摩地域廃棄物広域処分組合が行った、処分場およびその周辺の水質・土壌・大気・生態系などの調査結果は、学識者で構成する「技術委員会」に報告されています。これらのデータを見る限り、現在まで特に問題はみられず、処分場が安全に運営され、周辺環境に影響をおよぼしていないことは明らかと言えます。

今後とも周辺環境に最大限留意し、二ツ塚・谷戸沢の両処分場が、循環型社会づくりのモデルケースとして、引き続き安全に運営されることを期待しております。



花崎正孝 委員長
処分組合技術委員会委員長
福岡大学名誉教授
福岡県リサイクル総合研究センター長



環境対策を徹底し、循環型社会づくりをリードしています



1 安全管理の徹底で 周辺環境等に影響なし

5種類の水質とも それぞれで安全を確認

処分組合では、処分場から発生する地下水等の水質検査を定期的に行っています。検査するのは(1)ごみの層を通った水(浸出水)、(2)浸出水を処理した後下水道に放流している水、(3)埋立地外の雨水を集め一時的に貯めている防災調整池の水、(4)埋立地内の地下水、(5)処分場内と周辺の井戸水、この5種類の水質です。調査の結果は、いずれの場所においても基準値を大きく下回る数値で、それぞれの安全性が確認されています。



ニッ塚処分場内での水質検査の様子。日の出町住民の方々の立ち会いのもとに行われています。

処分場内の観測井戸(上流及び下流)における 重金属等の調査結果 (平成16年4～6月期)

項目(基準値)	谷戸沢上流		谷戸沢下流		ニッ塚上流		ニッ塚下流	
	単位:mg/L	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
銅 (なし)	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
全クロム (なし)	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
カドミウム (0.01)	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
鉛 (0.01)	ND	0.001	ND	ND	ND	ND	ND	
ヒ素 (0.01)	0.001	ND	0.002	0.002	ND	ND	ND	
総水銀 (0.0005)	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
トリクロロエチレン(0.03)	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	
テトラクロロエチレン(0.01)	ND	ND	ND	ND	ND	ND	ND	

処分場敷地内のダイオキシン類 調査結果 (平成16年2月3日～10日)

調査地点(基準値)	ダイオキシン類				
	PCDD	PCDF	Co-PCB	合計	単位:pg-TEQ/m ³
処分場南側地点 (0.6)	0.013	0.035	0.0025	0.051	
北側地点 (0.6)	0.013	0.022	0.0015	0.037	
東側地点 (0.6)	0.010	0.012	0.0010	0.023	
最下流地点 (0.6)	0.021	0.059	0.0041	0.085	

※基準値は「地下水の水質汚濁に係る環境基準について(平成9年3月13日環境庁告示第10号)」別表「人の健康の保護に関する環境基準」を準用。
 ※NDとは、検出されなかったことを示す。
 ※調査地点の具体的な場所はホームページで紹介しています。

3 谷戸沢の自然は 着実に回復しています

谷戸沢処分場は、多摩地域の廃棄物を昭和59年から14年間にわたり埋立処分した処分場です。平成10年4月に埋立を終了した後も、処分組合では適切な維持管理を行い、長期の生態モニタリング調査を続けています。現在では広大な草原となり、四季を通じてさまざまな動植物が確認されています。



谷戸沢処分場の秋の様子(平成16年11月撮影)。

情報はホームページで 公開しています

<http://www.tokyo-shiobunkumiai.com>

環境調査結果の詳細およびエコセメント事業、谷戸沢の自然回復等については、インターネットのホームページで公開しています。その情報量は、他の処分場と比較しても例がないほど充実しており、多様な項目の細部にいたるまで開示しています。ぜひ、ホームページにアクセスしていただき、より詳しい内容をご覧ください。

2 焼却灰を原料に エコセメントを作ります

究極のリサイクルを実現して ニッ塚処分場を有効活用

処分組合では、ごみ焼却灰を埋め立てずにセメントとしてリサイクルする



最新鋭の排ガス処理設備等で 適正に処理

「エコセメント事業」に取り組んでいます。これによりニッ塚処分場の埋立使用期間を延ばして有効に活用するとともに、資源の再生利用を図って循環型社会を推進していきます。

エコセメントは平成14年に日本工業規格(JIS)に定められた安全性が確認されている土木資材です。その製造工程においても、高温処理によるダイオキシン類の分解、ろ過集じん機(バグフィルタ)で排出ガスを安全に処理するなど、万全の環境対策を講じています。今後、各自治体での利用が予定され、資源の有効活用を進める画期的な取り組みとして期待されています。

地域住民によるごみ減量、リサイクル活動を紹介

たまごみ会議

多摩市の市民団体「たまごみ会議」は、買い物の際にマイバッグを持参したり、レジ袋を繰り返し使うよう広く市民に呼びかけ、レジ袋削減に取り組んでいます。東京都が推奨する環境にやさしい買い物キャンペーンに参加するとともに、多摩市内のスーパーマーケット20店舗を対象に、レジ袋削減取り組みについてのアンケートや買い物客のレジ袋辞退率の調査を行っています。「最近では、マイバッグ持参で買い物をする人が増え、ごみ減量への意識の高まりを感じる」とのこと。こうした活動は多摩地域全体へと広がっています。

マイバッグ持参呼びかけるボランティアのみなさん。

美住リサイクルショップ「夢ハウス」

東村山市と市民による運営委員会が運営する美住リサイクルショップ(愛称「夢ハウス」)は、「ごみは燃やさない、埋め立てない、このまちにも迷惑をかけない」という基本理念のもと平成10年にオープンしました。ここでは、再生家具の販売、廃材を利用したものづくりの指導、食器の貸し出しなどを行っています。再生家具は展示するとすぐに売れてしまうほどの人気です。また、ごみ減量やリサイクルのアイデアを紹介する「夢ハウスだより」を発行、不用品交換情報が特に好評で、市民のリサイクルへの関心の高さがうかがえます。

美住リサイクルショップでリフォーム講習に参加したみなさん。

4 「ISO14001」の 取得をめざします

処分組合は平成16年度中に「ISO14001」の認定を取得すべく、準備を進めています。環境新時代にふさわしい処分場をつくり運営するため、これまでの経験を生かしながら環境保全活動を継続し、周辺環境の保全に力を注いでいきます。この「ISO14001」の取得に先立ち、下記のように基本理念および方針を定めました。

東京都三多摩地域廃棄物広域処分組合環境方針

「基本理念」
 390万人の人々が暮らす東京都多摩地域からは、日々多くのごみが発生しており、ごみの収集から処分に至る過程で発生する様々な環境問題に対処することは、周辺地域のみならず地球環境にとっても緊急かつ重要な課題となっています。「21世紀は環境の世紀」と言われます。この膨大なごみ問題の解決なくしては、私たちが受け継いできた環境を将来の世代に引き継いでいくことはできません。そのため、ごみの発生から最終処分までのすべての過程で、住民、事業者、行政が現状を正確に把握し、各々の役割を認識し、廃棄物の適正処理はもとより、ごみの発生抑制やリサイクルの観点から協働することで、環境への負荷を減らしていかねばなりません。処分組合は、環境新時代にふさわしい最終処分場を創造していくため、率先して次の取組について、環境目的及び環境目標を定め、定期的な見直しを行うことなど環境マネジメントシステムの改善により、環境保全活動の継続及び周辺環境の汚染の予防に努めています。

「基本方針」
 1 地域住民の健康で安全な生活を確保し、さらには地球環境を保全するため、環境に関する法令や協定等を遵守して環境汚染の予防に努めます。
 2 庁舎及び一般廃棄物の埋立に伴う各事業活動において、省資源・省エネルギーを推進し、環境負荷の低減に努めます。
 3 一般廃棄物の排出抑制と再資源化への取組を進め、貴重な最終処分場を大切にします。
 4 最終処分場内において、動植物や水辺環境の保全・創出を進め、住民が身近に自然と触れ合うことのできる環境を確保します。
 5 循環型社会の実現に向けて、住民に見学会など広く環境学習の機会を提供し、ごみ問題の解決への意識を啓発していただきます。
 6 環境方針は一般に公表し、入手できるようにします。また、処分組合が保有する環境に関する情報は、積極的に公表します。

平成16年4月1日
 東京都三多摩地域廃棄物広域処分組合
 管理者 土屋正忠



エコセメント通信



「日の出町はまきまつり」
「むすしの焼物まつり」

「エコタロー」

処分組合は、可燃ごみの焼却灰をリサイクルして作る「エコセメント」をより多くの方々にご理解いただくため、「第16回日の出町産業まつり」(11月6日、7日開催・日の出町)と「第24回むすしの青空市」

(11月7日開催・武蔵野市)に出展し、パネルやエコセメント製品のサンプル展示等でエコセメント技術を紹介しました。今後とも各市町のリサイクル関係行事等に順次出展してまいります。



エコセメントのサンプルを見てクイズに答える来場者。



エコセメントを利用したプランター手作り教室を開催。

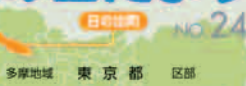


ミニプランターに観葉植物を植えたものを展示販売しました。

【どんど焼き】

新年の松飾りやお札、ダルマなどを竹やワラで組み上げて焚き上げるどんど焼き。この火で蘭玉団子を焼いて食べると、一年間健康で過ごせると言われています。1月10日午前5時前後から町内に流れる平井川の河原

日の出だより No.24



多摩地域 東京都 区部

敷か所で一斉に点火され、夜まだ明けきらぬ間に真っ赤に燃える炎が浮かび上がります。



◎お問い合わせ先/日の出町役場経済課商工観光係
TEL.042-597-0511(代)

【火渡りの行】

毎年1月の第3日曜日(平成17年は1月16日)に、日の出町の秋川不動尊西福寺で「火渡りの行」が行われます。この行は、寺の前の広場で護摩が焚かれ、まだ火が残るその灰の上を、無病息災を祈願して裸足で渡るといいます。元来は修験道の荒行ですが、ここでは一般の方も参加できます。



平井川の河原で行われるどんど焼き(写真上)や西福寺の火渡り(下)で、1年間の無病息災を祈願。

◎お問い合わせ先/秋川不動尊西福寺
TEL.042-597-0557

三多摩は一つなり交流事業

★「三多摩は一つなり交流事業」…最終処分場を受け入れていただいている日の出町の方々と多摩地域25市1町の住民が、文化・スポーツなどの事業を通じて交流し、相互の理解を深めていくことを目的とした事業。処分組合では、この事業の実施を支援しています。

★2004年秋の実施イベントの報告

10月2日(土)

クリーンセンター多摩川施設見学と東京ヴェルディ1969応援

日の出町民37名が稲城市を訪れ、クリーンセンター多摩川の施設を見学。午後は味の素スタジアムで、稲城市を拠点とする東京ヴェルディ1969とヴェッセル神戸との試合を観戦しました。



10月10日(日)

バルテノ多摩コンサート鑑賞(古謝美佐子・夏川りみ公演)

日の出町民37名が、多摩市にあるバルテノ多摩で行われた「古謝美佐子・夏川りみ」によるジョイントコンサートを鑑賞しました。

味の素スタジアムでサッカー観戦。

10月31日(日)

インディアカ交流試合(日の出町・八王子市・昭島市)

昭島市にある市立総合スポーツセンターでインディアカの交流大会が行われました。日の出町民と昭島市民および八王子市民が参加して(34チーム)共にスポーツを楽しみました。

12月10日(金)

キエフ・バレエ「くるみ割り人形」を鑑賞

日の出町民が、武蔵野市民文化会館で開かれたウクライナ国立キエフ・バレエ団によるチャイコフスキー作曲「くるみ割り人形」を鑑賞しました。

★2005年1月～3月実施イベント(予定)

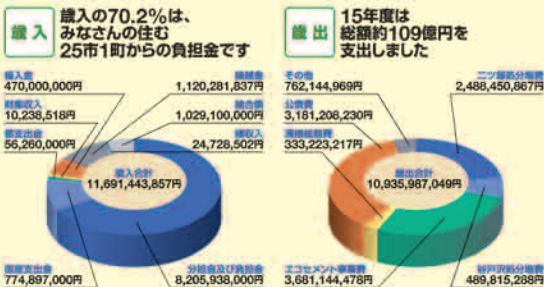
実施日	イベント名	実施主体
3月19日(土)	「親子そは打ち体験と処分場見学(三鷹市)」	日の出町

処分組合の動き

- 10月 4日(月) 平成16年第2回正・副管理者会議
- 10月 18日(月) 平成16年第2回理事会
- 10月 29日(金) 平成16年第2回処分組合協議会定例会
- 10月 22日(金)～29日(金) ニッ塚処分場敷地内大気中ダイオキシン類調査実施
- 12月 7日(火) 第12回処分組合技術委員会
- 12月 9日(木) 第16回環境保全調査委員会
- 12月 15日(水) 第3自治会谷戸沢処分場監視委員会
- 12月 22日(水) 第22自治会ニッ塚処分場対策委員会

平成15年度決算の報告

決算額は前年度と比べ、歳入で1,104,397,582円の増(10.4%増)、歳出で1,469,222,611円の増(15.5%増)となりました。平成15年度は、エコセメント化施設建設工事に着手し、施設稼働へ向けて本格的な準備を進めました。



処分場の見学を積極的に受け入れています



展示物を真剣に見つめる小学生のみならず、

処分組合は、年間を通じて小学生や親子などによる処分場見学を積極的に受け入れています。社会科の授業で「ごみ」について学習する小学4年生の見学者数は、平成15年度には883名、平成16年度は9月現在で、334名でした。

ホームページをご覧ください
<http://www.tokyo-shobunkumiai.com>

処分組合では、処分場の敷地内や周辺の土壌、水質など環境調査の結果をホームページで公表しています。クイズに挑戦しながら「ごみ処理」について知ることができるコーナーも好評です。ぜひアクセスしてみてください。

発行・問い合わせ先
TEL: 042-385-5947 FAX: 042-384-8449
処分組合ニュースの内容やご処理に関するお考えなど、みなさまのご意見をお手紙、FAX、電子メールでお聞かせください。
〒183-0052 東京都府中市新町2-7-7-1 東京自治会館内
東京都三多摩地域廃棄物広域処分組合「処分組合ニュース係」
【メールアドレス】 sskumiai@tokyo-shobunkumiai.com